

〈言語と文化科目〉

言語と文化科目の概要と履修方法

- ① 言語と文化科目は、「言語と文化（講義科目）」と「第二外国語Ⅰ・Ⅱ（演習科目）」があります。「言語と文化（講義科目）」は2単位科目、「第二外国語Ⅰ・Ⅱ（演習科目）」は1単位科目です。
- ② 言語と文化科目のうち「言語と文化（講義科目）」は必修科目です。ドイツ語、フランス語、中国語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語、アイスランド語の6つの言語（母語を除く）の中から1つ選択し、履修します。
- ③ 「第二外国語Ⅰ・Ⅱ（演習科目）」は、「言語と文化（講義科目）」で学習した言語をさらに外国語として学ぶ科目です。アイスランド語を除く、ドイツ語、フランス語、中国語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の5つの言語が開講されます。授業単位を取得した「言語と文化（講義科目）」と同一言語のⅠとⅡを履修することができます。ただし、各言語の授業実施方法の相違により、次の表に示すような履修条件がありますので注意してください。履修申請方法の詳細は、後日掲示等にてお知らせします。全学共通教育棟前の掲示板や学務情報システムの全学共通教育キャビネット等のお知らせに従い申請してください。

第二外国語Ⅰ・Ⅱの授業実施方法による履修条件

言語	Ⅰ・Ⅱ履修	Ⅰのみ履修可	Ⅱのみ履修可
ドイツ語	○	○	○
フランス語	○	○	×
中国語	○	○	○
朝鮮・韓国語	○	○	×
ポルトガル語	○	×	×

- ④ なお、「第二外国語Ⅰ・Ⅱ（演習科目）」は、地域科学部においてのみ必修科目となっています。地域科学部以外の学部等においては、選択科目です。履修方法については各学部等のページを確認してください。

言語と文化のクラス分け

- ① 「入学手続」時に選択した「言語と文化：言語の希望調査」の回答に基づいて自分が学ぶ言語のクラスが決定されます。授業は、およそ40人のクラス編成となります。特定の言語の希望者が多くなり、クラスの定員を超える場合は、希望順位の低い言語になることもあります。
- ② 言語のクラス分けは、前学期開講科目については4月7日に学務情報システムの履修登録画面により通知しますので、これらに記載されている教室に行き受講してください。後学期開講のアイスランド語については、別途学務情報システムの全学共通教育キャビネットにてお知らせします。

言語と文化の再履修の方法と申請方法

- ① 言語と文化を再履修（「不合格判定」及び「履修放棄」により）する場合は、次学期以降に開講される授業科目（他学部等用のものでも可）を再履修します。
- ② 最低修得単位数を満たした場合でも、希望者は未修得の言語と文化を履修することができます。
- ③ 再履修の申請方法は、詳細を後日掲示等にてお知らせします。全学共通教育棟前の掲示板や学務情報システムの全学共通教育キャビネット等のお知らせに従い申請してください。